

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 国語 科目 言語文化（在京）

教科：国語 科目：言語文化（在京） 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～6組（在京生徒）
 教科担当者：鈴木 仁志
 使用教科書：（大修館書店『言語文化』）

教科 国語 の目標：自身で考え、それを日本語で他者に伝えることができる。
 【知識及び技能】教科書の中の主な漢字の読み書きができ、語彙を理解して使うことができる。
 【思考力、判断力、表現力等】文章を読んで自分の考えを書くことができ、他者の話を聞いて自分の意見を伝えることができる。
 【学びに向かう力、人間性等】自ら課題を見つけ積極的に取り組むことができ、他者と協働して課題に取り組むことができる。

科目 言語文化（在京） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える動きがあることを理解すること。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 いろは歌 【知識及び技能】古文の文体や仮名遣いに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】作者の伝えたいことをとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】自ら新しい言語を学ぼうとし、その成果を会話や記述で表す。	・指導事項 古文に親しむ ・教材 いろは歌 ・一人1台端末の活用	○		○	【知識及び技能】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 【学びに向かう力、人間性等】自ら新しい言語を学ぼうとし、その成果を会話や記述で表そうとしている。	○	○		5
	B 単元 児のそら寝 【知識及び技能】古文の文体や仮名遣いに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】作者の伝えたいことをとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】自ら新しい言語を学ぼうとし、その成果を会話や記述で表す。	・指導事項 古文に親しむ ・教材 児のそら寝 ・一人1台端末の活用	○		○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。	○	○		10
	定期考査						○	○		1
2 学 期	C 単元 絵仏師良秀 【知識及び技能】古文の文体や仮名遣いに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】作者の伝えたいことをとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】自ら新しい言語を学ぼうとし、その成果を会話や記述で表す。	・指導事項 古文に親しむ ・教材 絵仏師良秀 ・一人1台端末の活用 等	○		○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1	
	D 単元 羅生門（前半） 【知識及び技能】古文の文体や仮名遣いに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】登場人物や情景を積極的に理解し、自身の中に理解しようとする。	・指導事項 言葉の紡ぐ世界 ・教材 羅生門 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	15
定期考査						○	○		1	
2 学 期	D 単元 羅生門（後半） 【知識及び技能】古文の文体や仮名遣いに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】登場人物や情景を積極的に理解し、自身の中に理解しようとする。	・指導事項 言葉の紡ぐ世界 ・教材 羅生門 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	15
	定期考査					○	○		1	

